

富山市で「医療機関向け安心・安全な電波利用環境の基礎講座」を開催

北陸総合通信局長 山田 和晴(やまだ かずはる)は、平成30年9月22日(土)に富山県総合情報センター(富山市)において、医療機関に従事する関係者を対象として、医療現場で電波を安全に利用する上で必要とされる基礎知識の周知を目的としたセミナー及びワークショップを開催し、セミナー 50名、ワークショップ 30名の参加がありました。



総務省 北陸総合通信局
大石無線通信部長

開会にあたり、北陸総合通信局無線通信部長 大石 通明(おおishi みちあき)から「昨今、医療現場でも電波が幅広く活用されている現状から、北陸総合通信局では平成28年度から医療現場において安全に電波を利用させていただくために、医療従事者を対象に電波の基礎知識に関するセミナー、ワークショップを開催し、地域医療の構築に少しでも寄与したい。」と挨拶しました。



総務省 総合通信基盤局
電波環境課 由本推進官

セミナー

最初に、総務省総合通信基盤局電波環境課電波環境推進官 由本 聖(よしもと しょう)から、電波に関する基礎的な知識と国内での電波利用の現状等について解説すると共に、医療機関における安心・安全な電波利用の推進に向けた総務省の取り組みについて説明しました。

続いて、東京大学医学部附属病院 講師 新 秀直(あたらし ひでなお)氏から、医療現場で電波を利用する際のトラブル事例を基に、課題と対策を中心に、医用テレメータ、携帯電話及び無線LANを利用する上で必要な基礎知識と電波の管理体制について、より実践的な対策事例を加えて講演いただきました。

なお、参加者アンケート結果では、(1)理解度は、「理解できた」と「ほぼ理解できた」が97%、(2)総合的な満足度は、「満足」と「やや満足」が83%と、参加者のほとんどが有益と感じている回答を得ています。



東京大学医学部附属病院
講師 新 秀直 氏

ワークショップ

ワークショップでは、滋慶医療科学大学院大学 教授 加納 隆(かのう たかし)氏の進行により、これまでのワークショップの復習と、携帯電話の防護基準等にかかる最新動向について分かりやすく解説をいただきました。

講義では、(1)携帯電話等の電波利用機器による医療機器への影響調査と使用指針等策定の推移、(2)「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」に基づき、①医用テレメータ、②無線LAN、③携帯電話(スマートフォン)のそれぞれについて利用上の注意点、(3)携帯電話指針から使用に関する具体策及び今後の新基準に関する情報等について、詳しく説明がありました。

なお、ワークショップに関するアンケート結果において、今後の希望は、「電波探知に関する研修会」が24%、「各病院での個別説明」と「ワークショップの継続」がそれぞれ17%でした。



滋慶医療科学大学院大学
教授 加納 隆 氏

※「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」のダウンロードはこちら
⇒ 電波環境協議会のホームページ <http://www.emcc-info.net/info/info280404.html>

※ e-learning 教材(基礎編、応用編)
⇒ 電波環境協議会のホームページ <https://www.emcc-info.net/info/info300410.html>

お問い合わせ先 無線通信部監視調査課
076-233-4441